

賛同・会員参加のお願い

- 原発の使用、販売のために最低限必要な、過去の事故の再発防止対策の実施を勧告します
- 採算を優先し安全を犠牲にするのは未必の故意の犯罪です
- 欠陥を放置したままの原発は廃炉しかありません

1. 原子力民間規制委員会・東京の設立について

2011年3月11日の東日本大震災と大津波に続く、東京電力福島第一原発の過酷事故発生により、原子力発電所がいかに危険であるかを多くの方が認識しました。加えて、1年11ヶ月にわたる原発ゼロを経験し「原発なしでも電気は足りる」を実感しました。

しかし、福島第一事故を経ても政府・財界は原子力推進政策を変えず、原発再稼働を強行してきています。

原子力規制委員会の「新規制基準」は、過去の事故を教訓としその再発防止対策を実施するという視点がありません。対策を行うと膨大な費用がかかるからです。原子力規制委員会は、今や原子力推進委員会の体をなし、全く不完全な「規制基準」で再稼働推進にまい進しています。

私たちはこれ対し、事故の再発防止対策ができていない欠陥原発は使用してはならない、生産・販売してはならない、という勧告を行う独自の「原子力民間規制委員会」を立ち上げることを決意しました。

電気事業各社および製造会社に対し、事故の再発防止のために必要な設計変更を求める直接交渉を行い、「できない（採算が取れない）」という回答なら、欠陥原発の廃炉を求めます。

すでに鹿児島・川内原発現地では、「民間規制委員会・かごしま」が昨年より活動を始めています。

「原子力民間規制委員会・東京」は、各原発現地の方達へこの運動を呼びかけ、共同して電気事業者との交渉を行いたいと思います。また、東京の地域性を活かし、原発製造会社への追及の活動も行っていきます。

2. ご協力をお願い

これらの活動を充実させ、できるだけ多くの方々にご理解を深めていただくため、ご関心のある方には会員または支援会員として、毎月の定例会、電気事業各社および製造会社との面談等へ参加していただきたいと考えております。また本会の活動に関し、積極的なご意見、ご希望を賜りたいと存じます。

企業との直接交渉のための交通費等がかかりますので、財政的支援という意味で、カンパは随時承ります。

会費は以下のように設定しています。

- (1) 会員：年会費 10,000円とする。
- (2) 支援会員：年会費 5,000円とする。

*会員・支援会員による定例会は、原則として毎月第4土曜日午後とします。

*会員・支援会員の方には、本会の活動に関する情報をメール等でお送りいたします。

「原子力民間規制委員会・東京」事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2

ダイナミックビル5F たんぽぽ舎気付

TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797

Eメール mkiseii.t@gmail.com 郵便振替 00180-8-324148

「原子力民間規制委員会・東京」 会員・支援会員申し込み書

お名前	
会員種別 (丸をつけてください)	・ 会員 (年額 10,000 円) ・ 支援会員 (年額 5,000 円)
Eメール (Eメール連絡を主といたしますので、できるだけご記入ください)	
ご住所	
電話	
F A X	
携帯	

「原子力民間規制委員会・東京」事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-6-2

ダイナミックビル 5 F たんぽぽ舎気付

TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797

Eメール mkiseii.t@gmail.com 郵便振替 00180-8-324148